

## 第3学年英語科学習指導案

日 時 平成28年10月7日(金) 5校時

学 級 3年2組(男子18名女子16名計34名)

場 所 3年2組教室

指導者 朝倉 貴子

### 1 単元名

PROGRAM 6 Let's Talk about Japanese Things.

### 2 単元の目標

- (1) 日本の伝統文化を英語で表現する。
- (2) 後置修飾の用法を正しく身につけ、運用する。

### 3 単元について

この単元では、学習指導要領において「内容の取り扱い」中に示されている「外国や我が国の生活や文化についての理解を深めるとともに、言語や文化に対する関心を高め、これらを尊重する態度を育てるのに役立つこと」の観点から、日本の文化を英語で表現することをねらいとしている。自国の文化についての知識はあっても、それを英語で表現するということになる、どのように述べればよいかということが課題になる。相手の文化にそれに対応する概念がない場合は訳語だけを充てることはできず、説明を加えることになる。どう表現すれば的確に理解してもらえるかを意識させる。そして、日本文化の発信というところに生徒の興味・関心を向けさせ、相手に伝わる表現ができることをねらいとしたい。

#### (1) 生徒観

教科書の音読や言語活動では大きな声で行い、意欲的に話している姿が多く見られる。また、外国語指導助手の授業でも興味を持って活動に取り組もうとする様子が見られる。しかし、2年時の教研式標準学力検査 CRT の結果では、「外国語表現の能力」が50.7%で全国平均より3.1ポイント下回った。また、県学調の検査結果では「言語・文化の知識・理解」が42.1%と県平均より3.7ポイント下回った。言語知識を使った表現能力が低いと考えられるので、適切な語句を用いて英文作成ができるように工夫したい。

#### (2) 指導観

指導にあたっては、はじめに日本文化や日本の特徴的なものとはどんなものがあるかについて考えさせる。そして、それらを英語で紹介する文を作成させる。その際、相手に伝わるような英文を作成することとこの単元の既習事項である後置修飾を意識して使うように指導する。

本校では、「主体的に学ぶ生徒の育成—『学び合い活動』の工夫を通して—」という研究主題を設定し授業を進めている。本時の指導においては次のような工夫をしている。授業の導入時に、前時の復習から学習課題を把握させ生徒に見通しを持たせる。課題解決においては4人グループでの活動を通して、知識理解を深める。まとめる、振り返る場面では、他のペアの英文を参考にして、自分たちの英文をさらに伝わる表現へと高める。また、確実に力をつけさせるために、「学習チェックシート」を使用し、その時間の授業で身についたものは何かを、個人で実感できるようにさせたい。

4 単元の指導計画・評価規準（8時間扱い）

時間	学習活動	評価規準				評価の方法
		関心・意欲・態度	表現の能力	理解の表現	知識・理解	
1	・今何かをしている人やもの のくわしい説明を理解することが できる。		・絵を見て、何か をしている人 の説明ができ る。		・現在分詞の後置 修飾を理解で きる。	・ワークシート ・観察
2	・「鳥獣戯画」についての報告の 文を読んで内容を理解するこ とができる。	・鳥獣戯画につい て興味を持っ て読もうとす る。				・観察
3	・何かされているものの詳しい 説明を理解できる。		・絵を見て、何か されているも のについて説 明ができる。		・過去分詞の後置 修飾を理解で きる。	・ワークシート ・観察
4	・「日本の伝統的なおもちゃ」に ついての文を読んで理解でき る。			・伝統的なおもち ゃについての 英文を聞き、内 容を理解する ことができる。		・観察
5	・お祭りなど日本の文化につい て紹介している英文を理解す る。			・英文を聞いて誰 のことを指し て言っている か理解するこ とができる。	・英文を聞いて誰 のことを言っ ているか理解 することがで きる。	・ワークシート ・観察
6	・日本的なものについて現在分 詞や過去分詞を用いて詳しく 説明する紹介文の構想を考え ることができる。	・ペアで協力して 活動しようと する。			・日本的なものを 取り上げ、文の 構想を考える ことができる。	・ワークシート ・観察
7	・日本的なものについて紹介す る英文を作成する。	・ペアで協力して 活動しようと する。			・辞書等を用いて 英文を作成す ることができる。	・ワークシート ・観察
8 (本時)	・「学び合い活動」を通じて、自 作の日本の紹介文を高めるこ とができる。		・相手に伝わるよ うな日本の紹 介文を言ったり、書いたりす ることができる。	・紹介文を聞き取 り、何について 言っているの かを理解する ことができる。		・ワークシート ・観察

5 本時の指導

(1) 目標

- ・相手の紹介文を聞きとり、何について言っているのかを理解することができる。
- ・相手に伝わる日本の紹介文を作ることができる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点 (○教師の指導 ◎評価 ☆支援が必要な生徒への配慮)
つかむ (8分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌を歌う。</li> <li>・前時の復習をする。</li> <li>・本時の課題を把握する。</li> </ul>	<p>○授業のウォーミングアップになるようにする。</p>
見通す (4分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の流れの紙板書を見て、課題解決までの活動の意義を理解し、見通しを持つ。</li> </ul>	<p>○本時の活動を確認し、課題解決までの課程を生徒と共有する。</p>
広げる 深める (28分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループでのクイズ出題に向けてペアで読む練習をする。(read and look up) (A)</li> <li>・4人グループになり、クイズを出題し合う。(B)</li> <li>・ルールを確認する。(時間、進め方など)</li> <li>・相手に伝わりやすい英文を聞き取り、メモしておく。</li> </ul>	<p>◎英文をジェスチャーとともに伝えることができる。</p> <p>☆英文全文を見ながら伝えてもよいと伝える。</p> <p>☆英文を読むことができるように支援する。</p> <p>◎他者の英文を聞き、理解することができる。</p>
振り返る まとめる (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クイズの英文を見直し、さらに伝わりやすいものになるようにする。(A)</li> <li>・学習チェックシートに記入する。</li> </ul>	<p>◎英文がさらに伝わりやすいものになるように見直すことができる。</p> <p>○家庭学習の指示をする。</p> <p>○本時の学習内容を振り返らせる。</p>